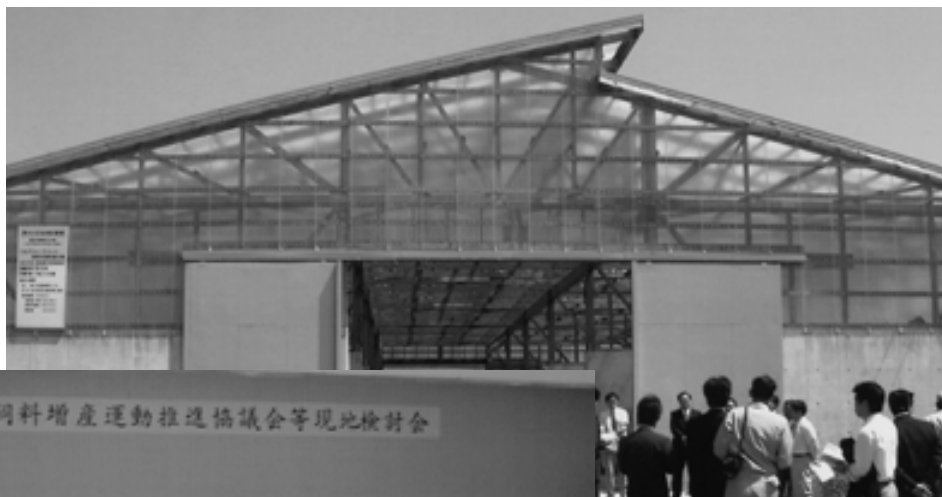


畜産みやぎ

発行所
 名取市増田字柳田379番地 1
 宮城県畜産協会
 電話 382 - 8134

編集発行人
 大堀 哲

印刷所
 (株)東北プリント



東北地域飼料増産運動推進協議会現地検討会 平成13年5月29日

もくじ

C O N T E N T S

平成13年度宮城県畜産協会事業の概要について ... 2	平成13年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ 9
平成13年度指定助成対策事業について 4	ウイルスによる子牛の感染性下痢症について 9
和牛登録の実績について 6	私のきっかけ 10
東北地域飼料増産運動推進協議会現地検討会の報告と河南町「大谷地堆肥生産組合」の取り組みについて ... 7	新人紹介 10
豚の骨軟骨症と肢蹄形状および脚弱との関連 8	

みやぎの
 畜産情報
 発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>
 Eメール mygchiku@mwnet.or.jp

平成13年度宮城県畜産協会事業の概要

(社)宮城県畜産協会

平成13年4月1日、畜産5団体が統合して、宮城県畜産協会が発足いたしました。

新協会は畜産農家の経営及び畜産団体等の運営に対する指導、家畜の飼養管理、種畜の改良、畜産に関する技術的な支援及び知識の普及、家畜及び畜産物の価格安定対策、肉用子牛生産者補給金及び肉用肥育牛補てん金の交付、自衛防疫の推進、生乳の検査及び格付けによる生乳の品質改善並びに流通の合理化による畜産経営の安定的発展と畜産の振興に寄与することを目的として、多岐にわたる事業の推進を図ることとなりました。

県及び県関係機関並びに関係諸団体と緊密な連携のもとに各種事業を推進してまいり所存でございますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

主な事業は次のとおりです。

経営支援課業務(旧畜産会、養豚協会)

1. 地域畜産総合支援体制整備事業

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、畜産経営体の生産性の向上と経営体質の強化を図るため、総合的な支援指導を実施する。

- 1) 畜産経営支援指導研究会の開催
- 2) 畜産コンサルタント団の設置
- 3) 地域畜産経営体相談窓口指導
- 4) 畜産経営技術支援指導
 - 個別診断指導(20戸)、経営管理技術指導(50戸)、フォローアップ指導(40戸)
- 5) 畜産経営情報データベース化事業
- 6) 優良畜産経営技術発表、交流会の開催
- 7) 畜産セミナーの開催
- 8) 各種研修会の開催

2. 一般指導事業

1) 畜産経営安定化特別指導事業

先進的経営体の調査並びに経営者協議会を開催し、畜産経営体の体質強化を図る。

2) 肉用牛生産経営技術改善事業

繁殖牛(4.5千頭)、子牛(22千頭)、肥育牛(5千頭)の調査とデータ処理から産肉能力を把握し、繁殖雌牛の整備に資する。

3) 酪肉基本方針啓発普及事業

4) 担い手集中経営支援体制整備事業

5) 畜特資金借入農家診断指導事業

6) 肉用子牛新制度業務データ整備事業

7) 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業

8) 畜産環境保全指導事業

9) 家畜敷料確保体制整備事業

10) 畜産機械施設貸付調査指導事業

11) 宮城県総合畜産共進会の開催

12) 畜産基盤再編総合整備実施計画策定事業

13) 畜産経営支援指導機能強化事業

14) 家畜生産集団支援対策事業

15) 畜産経営向上安定対策事業

イ) 国産牛肉生産・消費対策強化事業

ロ) 馬事畜産振興推進事業

ハ) 畜産生産技術高度化機械リース事業

16) 地域養豚振興特別対策事業

17) 養豚振興体制整備総合対策事業

イ) 養豚経営動向等調査事業

ロ) 優良種豚生産利用推進

ハ) 高品質豚肉生産効率化

18) 養豚経営技術改善推進事業

19) 種豚登録関連事業の推進

20) 優良種豚確保対策事業



株式会社 五十嵐商会
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4
 電話(022)236-2525(代表)

畜産振興の明日を担う地方競馬



地方競馬全国協会

KOMATSU

カンタン操作で、
 飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
 仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
 電話(022)(237)7441(番内)

- 21) 養豚組織基盤育成強化事業
- 22) 優良種豚確保対策事業

家畜改良課業務(旧畜産会)

- 1. 肉用牛集団育種推進事業
- 2. 家畜人工授精用精液の配布
- 3. 和牛・乳用牛の登記, 登録及び関連事業
- 4. 乳用牛群検定普及定着化事業

価格安定課業務(旧肉用牛価格安定基金協会)

- 1. 肉用子牛生産者補給金制度
 - 1) 肉用子牛生産者補給金制度
 - 2) 肉用子牛生産者補給金制度適正化事業
 - 3) 肉用子牛生産者補給金円滑化事務委託
 - 4) 子牛生産拡大奨励事業
 - 5) 中核肉用牛繁殖経営等育成対策事業
 - 6) 補給金制度推進事業
- 2. 肉用牛肥育経営安定対策事業

肉用牛肥育経営安定基金を造成し, 経営の収益性が悪化した時に肥育牛補てん金を交付し, 肉用牛肥育経営の安定と肉用牛生産基盤の拡大に資する。

家畜衛生課業務(旧家畜畜産物衛生指導協会)

- 1. 自衛防疫推進事業

自衛防疫事業を円滑に推進するため, 関係機関による推進会議並びに指定獣医師の指導体制の強化を図るための定例会・講習会・研修会の開催。
- 2. 特定疾病自衛防疫推進事業

伝染性疾病に対する予防接種と損耗防止。
- 3. 豚コレラ撲滅体制確立対策事業
- 4. 家畜生産農場清浄化支援対策事業
 - 1) 豚オーエスキー病清浄化推進総合対策事業
 - 2) 疾病発生・流行防止支援対策
- 5. 家畜防疫互助基金造成等支援事業

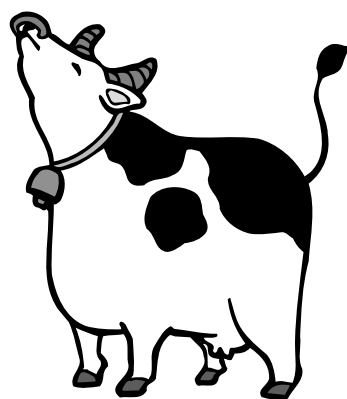
- 6. 衛生管理ガイドライン普及事業
- 7. 生産地馬防疫推進事業
- 8. 伝染性疾病の浸潤調査・抗体保有状況調査事業
- 9. 家畜飼養環境整備強化事業
- 10. 家畜衛生環境整備円滑化事業

生乳検査課業務(旧生乳検査協会)

- 1. 日本農林規格に基づく原料牛乳の格付検査事業
 - 1) 合乳取引格付検査
 - 2) 個乳配分格付検査
 - 3) 集乳路線の品質検査
- 2. 生乳及び牛乳・乳製品の受託検査事業
- 3. 生乳品質改善研修事業
 - 1) 一種及び二種生乳取扱者技術研修事業
 - 2) 委嘱生乳検査員技術研修事業
 - 3) 乳質改善指導部会員研修事業
- 4. 生乳検査技術研修事業
- 5. 生乳品質改善指導事業
- 6. 生乳検査機器精度管理事業

以上, 協会の主要な事業を紹介申し上げましたが, 他の事業につきましても主要事業との関連も含め, 各課一体的に事業を推進して参ります。

(総務課長 高橋 正義)



●効果……産卵時の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良増肥作り
創業30年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

Ferment Feed
ビタコーゲン

株式会社 セイフ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目10番3号
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 215-7190

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、ごちそうではありません。

洗きたまま開までとどきます。

ビヒダス

ヨーグルト 500ml

宮崎乳業株式会社 5年連続販売5丁1番3号
TEL (099) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区宮田一丁目4番5号 022-2621798

平成13年度指定助成対象事業について

宮城県畜産課

指定助成対象事業は、「農畜産業振興事業団法」に基づき、国が直接実施する補助事業としてなじみがたい事業、国の補助事業を補完するための事業、畜産をめぐる諸情勢の変化に対応して緊急に行う事業について、民間における自主的な畜産振興のための取り組みを助長することとして実施されるものであり、農畜産業振興事業団は、毎年度、指定助成対象事業についてその経費を助成しています。

この事業の財源は、平成2年度までは、輸入牛肉の売買差益を主たる財源としてきましたが、平成3年度からは、牛肉等の関税収入を財源とした国からの交付金を主体に措置されています。

平成13年度の指定助成対象事業は、「新たな酪農・乳業対策大綱」等を踏まえ、昨年4月に取りまとめられた「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」等を実現するための対策としての2年目として位置づけられ、市場実勢を反映した適正な価格形成実現及び酪農経営の安定確保並びに生乳の流通対策、牛乳・乳製品の加工・流通・消費対策、経営体・担い手対策（ゆとりある生産性の高い畜産経営の確立）、畜産環境対策の推進、自給飼料の増産、家畜改良の推進及び飼養管理技術の高度化、畜産経営対策、家畜衛生・畜産物安全対策、食肉の加工、流通、消費拡大対策等の事業が実施されることとなりました。

助成を受けることができる団体は、全農等の農林水産大臣が定める全国連がほとんどですが、この団体の下部組織である県域団体を通じて畜産経営者や農協も間接的に補助を受けることができます。主な事業については、別表のとおりとなっています。

Table with columns: 項目 (Item), 事業名 (Project Name), 事業の目的 (Purpose), 事業内容 (Content). It lists various agricultural support programs such as '酪農ヘルパー利用促進特別対策事業', '肉用牛経営の安定対策', and '養豚経営の安定対策'.

項目	事業名	事業の目的	事業内容
【家畜改良の推進及び飼養管理技術の高度化】	畜産新技術開発活用促進事業(拡充)	畜産新技術の開発・実用化を推進するとともに、これら新技術及び新技術を活用した畜産の普及・定着化を推進し、我が国畜産の振興と発展に資する。	1 畜産新技術の普及推進 畜産新技術を活用した畜産物等に関する普及定着のための啓発活動を行う 2 先進繁殖技術の確立 受精卵利用肉用牛の生産集団を育成するため、推進会議の開催、地域における受精卵利用肉用牛の増殖計画の策定及び受精卵移植技術者の育成を行う 優良雌牛からの採卵、受精卵移植等に対する奨励金を交付する
【畜産環境対策】	畜産環境緊急特別対策事業(拡充)	家畜排せつ物の野積みや素堀りの解消、低コストな家畜排せつ物処理技術等の開発、たい肥の流通利用の促進等の事業を緊急かつ総合的に実施し、畜産環境問題の解決に資する。	1 畜産環境保全施設の整備 家畜排せつ物の野積み・素堀り貯留の解消を図るため、(財)畜産環境整備機構がたい肥化施設・浄化処理施設等をリースするのに必要な機械施設の購入費の1/2を助成する 2 堆肥センターの機能の強化 堆肥センターが行うたい肥散布への助成、成分分析、散布運搬や広域流通促進のための機械、ストックポイントの整備等に対して助成を行う。 たい肥センター運営改善のための良質たい肥生産技術、たい肥施用技術等について研修・人材育成を行う 3 その他 悪臭防止、浄化処理等の家畜排せつ物処理コストの低減のための技術開発、情報の提供を行う 畜産環境問題を解決するため、特別指導チームを設けて技術面、経営面等の重点指導を行う
	土地利用型酪農推進事業(拡充)	新たな酪農・乳業対策大綱並びに新たな加工原料乳制度への移行を踏まえ、畜産環境問題に適切に対応し得る飼料基盤に立脚した酪農経営を実施している生産者を支援する。	経産牛1頭当たり飼料作付面積の水準に応じてランク分けし、それぞれのランクごとに1頭当たり定額の奨励金を交付する
【負債対策】	大家畜経営改善支援資金特別融通助成事業(新規)	負債の償還が困難な酪農及び肉用牛経営に対し、既貸付金の条件緩和等の措置とあわせて長期低利資金の融通を行うことにより、経営の安定及び後継者への経営継承の円滑化を図る。	貸付対象者 1 経営改善資金 「経営改善計画」を作成し都道府県知事の承認を受けた経営 借入金の償還が困難となっている経営 酪農又は肉用牛経営を長期に継続し経営の体質改善に積極的に取り組む意欲と能力を有する経営 一定規模以上の経営 2 経営継承資金 上記1の要件に加え、比較的若年である後継者が経営を継承する経営 貸付期間 平成13年度～平成17年度 償還期間 経営改善資金 15(特認20)年以内 うち据置3年以内 経営継承資金 25年以内 うち据置5年以内 貸付利率 経営改善資金 1.3%以内 経営継承資金 1.3%以内 (平成13年4月2日現在実際は貸付実行時の金利水準によって決定)
【低コスト化の推進対策】	乳肉複合経営体質強化事業	酪農経営の安定と牛肉資源の有効利用を図るため、酪農経営の有するほ育苗技術等を活用し、酪農経営等による初生牛のほ育・育成、経産牛肥育、受精卵移植技術の活用による肥育素牛生産など、地域及び経営の実情に応じた多様な形態での乳肉複合化を推進する。	1 乳肉複合経営の体質強化 乳肉複合経営促進型 高品質初生牛生産奨励金 (おおむね1月以上のほ育) 7千円/頭 乳用雄牛等育成奨励金 (6か月齢以上) 14千円/頭 酪農家集団ほ育育成奨励金 (6か月齢以上) 12千円/頭 地域内乳肉複合促進型 共同育成奨励金 (6か月齢以上) 4千円/頭 2 酪農経営における経産牛活用対策 経産牛肥育促進型 経産牛肥育奨励金 (4か月以上肥育) 20千円/頭 繁殖利用促進型 繁殖利用奨励金 (肉専子牛生産、双子生産) 43千円/頭
	肉用牛生産基盤安定化支援対策事業(拡充)	優良雄牛の能力検定・評価の実施、肥育成績の収集・分析体制の整備等による改良増殖の強化、条件不利地域等における繁殖基盤の改善、併せて、分娩間隔の短縮、肥育期間の短縮等による効率的肥育体型の普及定着を図り、肉用牛生産基盤の安定的発展に資する。	1 肉用牛資源改良増殖強化対策 優良種雄牛安定確保対策 優良な育種資源の収集・確保・利用、新技術由来の雄牛等を対象とした後代検定の実施、広域改良の普及啓発等を行う 肉用牛繁殖雌牛等能力評価推進 肥育情報や格付情報等を効率的に収集・提供・分析し、全国段階及び地域段階での種畜の総合的な評価を行う 2 肉用牛生産基盤改善強化対策 子牛流通活性化対策 市場調査、市場機能向上機器の整備、計画的な子牛流通の奨励、放牧・未利用地利用等低コスト生産地域における短期集合同業育成施設の整備、特定市場等における家畜取引情報システムの整備、肥育素牛の早期出荷奨励等を行う 繁殖基盤強化対策 優良繁殖雌牛の導入奨励、特定種雄牛の交配奨励等を行う 肉用牛ヘルパー組織支援対策 ヘルパー出役調整、要員確保活動、ヘルパー活動に係る研修、ヘルパー利用のための互助制度の実施等 肉用牛生産基盤安定推進 推進会議の開催、組織支援及び繁殖基盤強化に係る実態調査・検討、技術指導、普及啓発等を行う 3 肉用牛等効率的生産体系普及定着化 省力的な繁殖方式の導入等による分娩間隔の短縮、肥育期間の短縮や粗飼料の多給等による効率的な肥育の実証、科学的な分析に基づく飼養管理技術の実証等を行うとともに馬の放牧肥育技術の確立のための実証調査等を行う
【家畜衛生・畜産物安全対策】	家畜防疫互助基金造成等支援事業(拡充)	豚コレラ撲滅対策の円滑な推進を図るため、ワクチン接種中止後の万一の発生に備えた互助基金の造成、緊急接種用のワクチンの製造・備蓄等を支援するとともに、口蹄疫等海外悪性伝染病発生時の経営安定を図るため、万一の発生に備えた互助基金の造成等を支援する。	1 家畜防疫互助基金の造成 豚コレラの万一の発生に備えた互助基金の造成及び発生時の互助基金の交付等発生経営の再建等に対する支援を行う 2 緊急ワクチン接種実施体制の整備 民間における緊急接種用豚コレラワクチンの製造・備蓄、ワクチン接種関連資材の備蓄等を行う (ワクチン備蓄量は常時100万頭分) 3 養豚の衛生管理 講習会の開催、管理指導事例の検討等による獣医師の衛生管理指導水準の向上を図る 豚コレラワクチン接種中止養豚経営を対象とした獣医師による豚丹毒ワクチンの接種を推進する 4 海外悪性伝染病防疫互助基金の造成 口蹄疫等の万一の発生に備えた互助基金の造成及び発生時の互助基金の交付等発生経営の再検討に対する支援を行う

平成12年度和牛登録の実績について

全国和牛登録協会宮城県支部

平成12年度の和牛登録実績は、登録件数で前年対比約106.3%の3,127件となり、子牛登記件数は、前年対比94.9%の22,452件となりました。また、会員数は、前年対比94.9%の7,356名となり、減少傾向が続いています。

和牛改良事業として進めている育種価推進事業については、枝肉情報収集件数5,402件・推定育種価判明頭数12,394頭となりました。また、今年度から肥育地の効果を農協から肥育者とし、精度の高い環境要因を取り除くことから前回より正確度の高い育種登録事業

種価を推定することが出来ました。尚、平成13年度より登録登記証明書に育種価指標（左から、枝肉重量・ロース芯面積・バラの厚さ・皮下脂肪厚・歩留基準値・脂肪交雑の6形質をA、B、Cにて表示）を宮城県内で飼養されているものに限り表示し、会員が活用しやすい体制を進めてまいります。

また、平成14年度から本原登録資格条件に、育種価資格条件が取り入れられることから、今後尚一層の産肉能力の改良が期待されます。

(上野 新英) 単位：件

Table with 7 columns: 種別, H12年度計画, H12年度実績, 計画対比, H11実績, 前年対比. Rows include categories like 育種牛, 高等登録, 高等移動, etc.

育種価事業

枝肉情報収集件数

Table with 4 columns: 支所名, H11収集件数, H12収集件数, 前年対比. Lists branch offices like 仙南支所, 古川支所, etc.

推定育種価評価頭数

Table with 4 columns: 支所名, H11評価頭数, H12評価頭数, 前年対比. Lists branch offices like 仙南支所, 古川支所, etc.

Advertisement for 'KODAWARI ICHIBA' (Specialty Market) featuring a logo and text about national livestock products and online access.

東北地域飼料増産運動推進協議会現地検討会の報告と 河北町「大谷地堆肥生産組合」の取り組み

石巻産業振興事務所畜産振興部

平成13年5月29日に東北地域飼料増産運動推進協議会現地検討会が開催され、東北6県から関係者約50名が集まり、「大谷地堆肥センター」の現地事例調査が実施されました。その後、河北町のピックアップで東北農業研究センターの堀末水田利用部長、名久井草部部長の講演がありました。東北農政局の淵上畜産課長、生産組合の高橋組合長、遠藤会計及び河北町の伊藤産業課長を助言者に意見交換会も行われ、出席者から河北町の「地域一体となった耕畜連携による取り組み」が高く評価されました。

「大谷地堆肥センター」は平成10年に環境保全型畜産確立対策事業により堆肥舎2棟、機械格納庫1棟、管理棟1棟及び機械7台を整備しました。管理運営は畜産農家などが構成する「大谷地堆肥生産組合」が行っており、組合員からの家畜排せつ物を良質堆肥に変え、水田や畑に還元するとともに、稲わらを飼料や敷料として畜産利用することにより地域内での有機物のリサイクルシステムを構築しています。

当地域は畜産と米や野菜との複合経営が多く、当初は生産堆肥の大半を自家消費する計画でしたが、良質な堆肥が口コミで評判になり、地元特産の菊やせりなどへ徐々にその用途が広がってきています。また、(集団)転作組合などの集団も堆肥生産組合の構成員に加わり、地域内での有機物リサイクルの環がますます大きくなるのが期待されます。

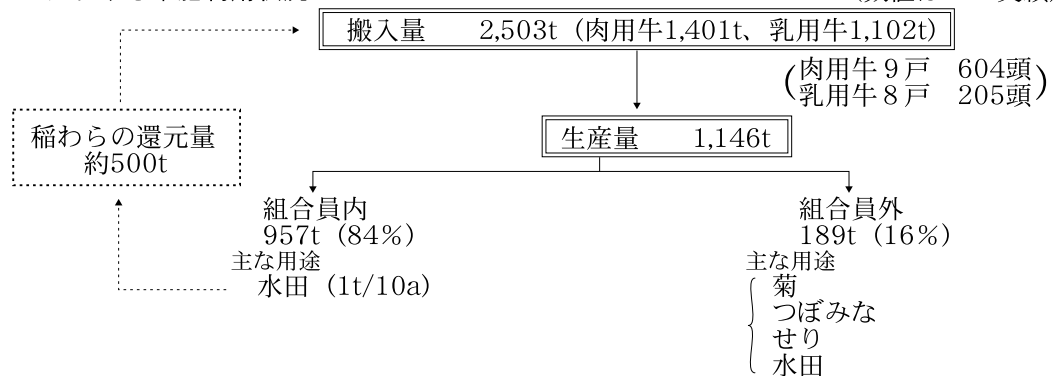
搬入の際の水分調整に特に気を配ったり、経時的な堆肥の発酵温度測定を行うなどの努力が実り、堆肥の評判は上々です。「使ってくれる人はこの堆肥の品質を信用してくれている。少しでも質を下げるわけにはいかない。」と組合長が一生懸命に語ってくれたことがとても印象的でした。

この堆肥センターのもう一つの特徴は「低コスト」というところにあります。シンプルな堆肥舎方式のため電気料・修理費などは機械攪拌タイプに比べて非常に少なくなっています。また、常勤職員を置かず、切り返し作業等は組合員が行うため、人件費も低く押さえられています。これらの結果、平成12年度は利用料金や堆肥の販売代金などにより減価償却費を含めた経費の大部分を賄うことができました。

この堆肥生産組合の取り組みはまだ始まったばかりですが、今後は有機農産物として付加価値をつけた農産物販売も検討しており、これからの活動に非常に期待が寄せられています。(指導班 平子 智子)

大谷地堆肥センターにおける堆肥利用状況

(数値はH12実績)



畑地への施用実績及び計画

	標準施用量	H12実績		H13計画		施用場所	施用時期 月
		戸	a	戸	a		
菊	4 t/10a	5	237	5	237	露地・ハウス ※ハウスが主	3~10
つぼみな	4 t/10a	21	82	25	25	露地・ハウス	9
せり	5 t/10a	8	58	15	15	露地・ハウス	7

<p>酪農家の 声を反映した製品づくりと安心の おけるアフターサービスは オリオングループの誇りです。</p> <p>東北オリオン株式会社</p> <p>本社 青森県 弘前市青森区船代町1番5号 0172-294-0001 支店 青森県 弘前市青森区船代町1番5号 0172-294-0001 TEL 017-294-0001 FAX 017-294-0001</p>	<p>動物用医薬品 犬・猫用/ニ製剤</p> <p>フロントラインスプレー</p> <p>動物用医薬品 ピラミリン・セレン酸塩を主成分とする 錠塩E100</p> <p>東北ゼニヤフ株式会社</p> <p>〒991-2301 宮城県仙台市青葉区中野2丁目21番11-5 TEL 022-349-0791 FAX 022-349-0794</p>	<p>スーパーダンプローダー 世界トップレベルの性能発揮</p> <p>TCM 東芝パワーショベル エム株式会社</p> <p>本社 工場・仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字草野110-1 TEL 022-239-6210</p>
---	--	---

畜産便り

豚の骨軟骨症と肢蹄形状および脚弱との関連について

宮城県畜産試験場

近年、大型種を中心とする種豚の改良、雑種の利用により産肉能力が飛躍的に伸びてきました。しかしその反面脚弱、起立不能など飼養管理上問題のある豚が増加してきています。脚弱の原因は骨格の異常、関節の障害、飼養管理面等が考えられており、その発生を抑制するためには飼養管理技術の改善とあわせて肢蹄の強い種豚の改良を進めていかなければなりません。脚弱は経済的損失が大きいため、現在、種豚の改良の際には肢蹄の強健性が強く求められています。そこで脚弱の一要因として考えられている骨軟骨症に着目し肢蹄形状および産肉能力との関連について検討しました。またあわせて骨軟骨症病変の遺伝的パラメータを推定しました。肢蹄形状は図1に示した5段階評価および管囲を用い、選抜試験第6世代の育成雄、育成雌、調査豚について、骨軟骨症病変は調査豚についてと殺後上腕骨遠位端、尺骨遠位端、大腿骨遠位端の病変を肉眼および軟X線により0~++の4段階に評価しました。表-1に軟X線で判定した骨軟骨症病変の発症頻度を示しました。中度以上病変の発症頻度はそれぞれ28.7%、24.6%、13.7%と特に前肢での発症頻度が高い傾向が認められました。

骨軟骨症病変と肢蹄形状、産肉能力の関連について結果を表-2、表-3に示しました。前肢、後肢

表-1 第6世代骨軟骨症発症頻度(%)

	軟X線		
	上腕骨遠位端	尺骨遠位端	大腿骨遠位端
発 正常	46.6	54.8	38.4
症 軽度	24.7	20.6	47.9
頻 中度	12.3	12.3	12.3
度 重度	16.4	12.3	1.4

表-3 骨軟骨病変(軟X線)と産肉能力の遺伝相関

	105kg到達日齢	一日平均増体量	ロース断面積(1/2)	背脂肪厚	筋肉内脂肪
上腕骨遠位端	0.15	-0.43	-0.18	-0.03	0.23
尺骨遠位端	-0.07	-0.01	-0.18	-0.35	-0.31
大腿骨遠位端	0.28	-0.33	0.39	0.31	0.29

表-4 骨軟骨症の遺伝的パラメータ(軟X線病変)

	RODH	RODU	RODF
上腕骨遠位端(RODH)	0.43	-0.32	0.65
尺骨遠位端(RODU)	-0.15	0.27	-0.35
大腿骨遠位端(RODF)	0.10	-0.09	0.13

対角: 遺伝率, 上三角: 遺伝相関, 下三角: 表型相関

得点と大腿骨遠位端病変の間に負の遺伝相関が認められ、得点の高い個体は病変の程度が軽い傾向が認められました。肢蹄形状・管囲の遺伝率については0.24~0.40で中から高の遺伝率が推定されました。次に骨軟骨病変と産肉能力との関連ですが、骨軟骨症病変と一日平均増体量の間に負の遺伝相関が認められ、骨軟骨症病変程度の軽い個体は一日平均増体量が大きい傾向が認められました。

骨軟骨症病変の遺伝率について表-4に示しました。骨軟骨症の遺伝率は中から高の値が推定され、上腕骨遠位端病変が0.46と最も高く、尺骨遠位端、大腿骨遠位端の遺伝率はそれぞれ0.20、0.18でありました。

以上のことから骨軟骨症病変については比較的高い遺伝率が推定され、改良が可能だと考えられます。また骨軟骨症の改良によって産肉能力に悪影響をおよぼすことなく、同時に肢蹄形状の改良も可能だと思われる。

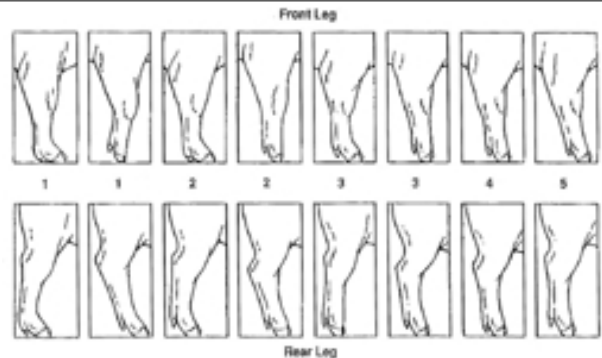
しかし、脚弱には骨軟骨症だけでなく他の要因も考えられるため歩様や骨格の評価等も加えた総合的な肢蹄評価が必要と考えられます。

今後は四肢骨格の評価や骨軟骨症病変の生体判定技術を検討する予定です。

(門脇 宏)

表-2 骨軟骨病変(軟X線)と肢蹄形質の遺伝相関

	上腕骨遠位端	尺骨遠位端	大腿骨遠位端	遺伝率(SE)
前肢得点	-0.10	-0.12	-0.80	0.24(0.03)
後肢得点	-0.13	0.00	-0.45	0.33(0.03)
前管囲	0.07	0.13	-0.06	0.31(0.03)
後管囲	0.20	0.18	-0.12	0.40(0.03)



肉牛出荷、高牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

牛用配合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラルが豊富に配合

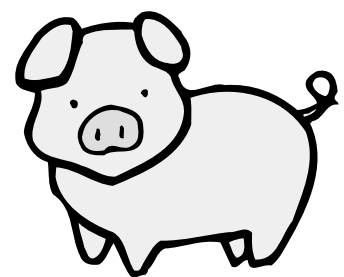
農協 販売 | 経済連

正統の育ちと味

仙堂牛

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ産直課内 TEL:022(264)8409



実践大学OBの抱負

「私のきっかけ」

宮城県農業実践大学校畜産学部
12期生 鈴木貴弘



早いもので、平成2年に農業実践大学校の畜産学部を卒業してから、11年が過ぎてしまいました。

しかし、就農してからは、まだ8年しか経っていません。実を言うと卒業と同時に就職し、3年間ほどサラリーマンをしてしまいました。畜産とは全く無縁の職

種で、当時は家業の肥育経営をすることなど全く頭にありませんでした。

しかし、父の怪我による入院をきっかけに家業を継ぐことになってしまいました。今まで、休日に手伝い程度しかしたことなかった私にとって、発育段階に応じた飼料給与など出来る訳もなく、とても辛く大変だった思い出しかありません。幸い、地域の肥育農家の方々や獣医さんの指導のおかげで、父が退院するまでの数ヶ月間を乗り切ることが出来ました。

また、サラリーマンの3年間の経験が、経営感覚等を身につけ、頑張りの原動力となったことから、有意義な体験をしたと思います。

現在では、肥育部門は1人で任せられ、60頭規模の肥育経営をやっています。子牛の導入、飼養管理、出荷まで自分の判断により行っています。自分では一人前のつもりでも父から見れば、半人前以下でしょう。

最近では堆肥の処理問題、子牛の減少による価格の高騰、枝肉相場の低迷など厳しい状況下におかれています。つい先日、小学校2年生になる息子に「ぼく大きくなったら、パパと牛飼いのするよ。」と言われ、ちょっと嬉しくなったと同時に、もっと頑張らなくてはと気が引き締まりました。

今後は、規模の拡大を図りつつ、経営内容を充実させ、もっともっと魅力のある畜産経営を目指して行きたい、人に誇れる経営をやっていきたいと思っています。

新人紹介

宮城県農業共済組合連合会

県北家畜診療センター
高畑幸子



今年の四月にNOSAI宮城に就職し、県北家畜診療センターに赴任いたしました。出身は岩手県一戸町で、岩手大学を卒業しました。大動物臨床に携わりたいと思い獣医を志したので、希望通りの仕事に就けたことは非常に幸運だと思っています。仕事を始めてから3

か月が過ぎ、先輩や農家の方々から様々な事を教えていただく毎日です。

私の実家は普通のサラリーマンの家庭でしたが、祖父母の家では昔、繁殖和牛を飼っていましたので、牛と接する機会がありました。農業や畜産、酪農などはそれを営む人々の生活と密接に関わっていることを知り、一生懸命働く姿を見て、自分もそれに関係のある仕事に就きたいと思うようになっていました。大学では、獣医になるための基礎的なことを学びました。臨床の現場に出てみて、まだまだ学ぶことがたくさんあると感じています。また、家畜の頭数が年々減少していくなか、大動物臨床獣医師に求められていることは非常に多く、やりがいのある仕事だと気持ちの引き締まる思いです。獣医師としてはまだまだですが、宮城県の畜産と酪農の発展のために精一杯頑張りたいと思いますので、皆様の御指導と御協力を宜しくお願い致します。



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産協会内)

電話 022-382-8133